

地域密着型ビジネス創出事業助成金採択事業

平成 22 年度第 3 回募集分

申請者	事業テーマ	事業概要
宮嶋 義則 (西条市)	西条産海苔を活用した新商品の開発事業	海苔養殖の盛んな西条地域で食されている「酢海苔」について、うちぬき水を使用した新商品の開発を行う。
(株)山蔵ふるさと味工房 代表取締役 伊藤 和英 (今治市)	今治産野菜・果物を使用したタレ・ドレッシングの開発及び製造販売事業	今治産野菜・果物をペースト化したタレ・ドレッシング等の新商品を開発し、地域のブランド商品として製造販売するとともに、地元飲食店等からニーズのある小ロット受注にも対応できる体制を構築する。
矢野 智美 (今治市(旧宮窪町))	地域の食材を活用した「来島鯛カツバーガー・野菜スティック・レモネード」の製造・移動販売事業	来島海峡産の鯛と地元大島産野菜を活用し「鯛カツバーガー」「野菜スティック」の商品開発を行い、これに大島産レモンを使用した「レモネード」を組み合わせ「ご島地(ごとうち)セット」として移動販売を行うほか、地元主婦グループが経営するカフェとの連携などにより地域の活性化を図る。
久保田 都 (松山市)	県内産素材を活かす「ごはん&お酒のお供」の食品加工・ギフト販売	県内産の無農薬野菜や減農薬野菜、瀬戸の小魚を使用した加工食品を開発し販売するとともに、愛媛の酒や米、調味料など地域の食品とのセット販売による販路開拓に取り組む。
(株)つばき 代表取締役 黒川 あゆみ (松山市)	愛媛の農水産物にこだわった無添加の天然調味料の製造販売	自ら経営する和食料理店で顧客に好評である愛媛の農水産物にこだわった無添加の天然調味料を商品として製造し、当該和食料理店のほか、インターネットや土産物店での販売を行う。
(株)テレファーム 代表取締役 遠藤 忍 (松山市)	インターネットを活用した地域農業支援システム構築事業	都会の消費者などの会員に対し、インターネット上で野菜の種を蒔いたり水を遣るなどのゲーム形式の農作物育成コンテンツを提供し、その成績も踏まえて契約農家が生産した農産物を提供するシステムを構築することにより、都市の消費者と地域の農家を結び付け、農家収入の安定化を図るなどにより農村地域の活性化を図る。
(株)プライサー 代表取締役 石津 知暉 (松山市)	県内出版社・小売業者向け販売促進ツールの提供事業	松山市の中心市街地を中心とした県内の出版社や小売業者向けに、新たな販売促進ツールである割引クーポン共同購入システムのサービスを提供する。
まるく(株) 代表取締役 北野 賢三 (松山市)	地産地消にこだわった出張カフェ「おでカフェ」事業	県産品を活用し地産地消にこだわったオリジナル商品を移動販売する出張カフェサービスを各種イベントや展示会などで提供し、にぎわいの創出に資する事業を展開する。
富田 佳成 (松山市)	愛媛の特産品の販売促進事業	愛媛県産品の販売促進に資するため、全国有名デパートでの催し物やアンテナショップでの販売、また、ブライダルギフト用のネットショップの構築を行う。

<p>株エビス 代表取締役 廣澤 正幸 (宇和島市)</p>	<p>地域資源“ふぐ”のブランド化及び販売促進事業</p>	<p>年間を通して質の良いとらふぐを提供できる養殖の強みを生かして、ふぐ刺し・皮刺し・焼きふぐなどの加工食品を開発するとともに、生産者やふぐ料理専門店と連携して需要の低下する夏季に食べる「夏ふぐ」の普及促進を図る。</p>
<p>武部 寛子 (宇和島市)</p>	<p>南予の地域資源を活用するためのコンサルティング事業</p>	<p>前職のイベント企画等の経験を生かして、出身地である南予の地域資源を活用した商品開発などのコンサルティングを行う。そのため、事務所に併設して、文化伝承のためのスクールや新商品のテスト販売などにも活用できるカフェを設置するほか、ホームページの開設などを行う。</p>
<p>松浦 康夫 (八幡浜市)</p>	<p>地元水産物を活用した加工食品の製造・販売事業</p>	<p>地元八幡浜港の水揚げにおいて、これまで低価格でしか取引されなかった鱧(はも)や太刀魚などの地魚の高付加価値化のため、これらを活用した加工品の商品開発を行い、県内外に販路開拓を行う。</p>
<p>三好 教子 (西予市(旧三瓶町))</p>	<p>地元和紙を活用した新たな風合いの色紙や短冊の製造販売事業</p>	<p>地域産業である和紙の高付加価値化を図った新たな風合いの色紙や短冊を製造し、全国の文芸の作家(小説、詩、和歌、俳句など)に販売する。</p>

[他の採択事業はこちら](#)